

1 - 1 北海道屈斜路湖から発見された毒ガス爆弾



写真提供：防衛庁



写真提供：防衛庁

毒ガス爆弾の概要

全長：105cm

直径：約20cm（尾翼部分は直径約2.5cm）

重量：約30（化学剤なし）～48kg（化学剤完全充填）

これは、平成7年に北海道屈斜路湖の湖底（水深約40m）から発見された旧軍の50kg毒ガス爆弾です。中にはマスタード（糜爛（びらん）剤。イペリットともいう）とルイサイト（糜爛（びらん）剤）が混合された状態で充填されていました。